

第1学年4組 英語学習指導案

場所1年4組教室 指導者 柴田 温実

1 単元名 「目指せ!思いやり系 RyuTuber !!」(6時間完了)

- 2 目標
- ・人が今していることや感動、驚きの気持ちを、「話し方」を意識して、より相手に伝わりやすいように英語の話し方を理解することができる。(知識・技能)
 - ・学校生活でしていることや感動、驚きの気持ちを動画を用いて、事実や気持ちなどを整理し、「話し方」を考えることができる。(思考・判断・表現)
 - ・外国にルーツをもつ人の困り感を解消するために、仲間と協力しながら、相手に伝わりやすい「話し方」を追究しようとすることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

3 『本単元』における学びをたのしむ生徒の姿について

本単元における学ぶたのしさは、生徒が外国にルーツをもつ級友に寄り添い、彼らの困り感を自分たちの力で解決してみたいという気持ちから生まれると考える。仲間の困り感を解消するために、学校生活を英語で説明する動画を作成する中で、「より伝わる英語を話したい」という思いを引き出し、表現を再構築していく意欲を高めたい。さらに、学びの過程で、仲間とともにより良い動画を作るために試行錯誤しながら、「話し方」に着目して、より伝わりやすい英語を話すことにこだわって取り組む姿を期待する。自分たちの作成した動画を QR コードにまとめ、入学説明会で配付する。来年の1年生に見てもらい、後日フィードバックをもらうことで、作成した動画が役に立ったことを実感し、たのしみながら英語を話すことへの意欲を高めていきたい。今後、学級に所属する外国にルーツをもつ生徒や日常生活で出会う外国人とコミュニケーションをとる際にも「話し方」を意識してコミュニケーションをとる姿を期待する。

4 単元構想

展開	生徒の好奇心を引き出していくための単元構想の工夫(手だて①)	学習課題と予想される生徒の反応
出会う	9月になり、半年を振り返ったときに、外国にルーツをもつ学級の仲間が「困ることがたくさんあった」と感じていた事実を知ること、その仲間と同じような子どもたちの困り感を解消したいという思いを引き出す。	外国にルーツをもつ、困っている人に寄り添おう。(1時間) 学級に所属する外国にルーツをもつ子に、困ったことを聞いてみようか。 日本語も分からないし、慣れない日本での生活は不安だよね。そして、中学校からは、たくさんの活動が増えるよ。 外国にルーツをもつ後輩が困らないようにできないかな。 ・まずは、学校生活での困りを取り除いてあげられたらいいよね。どんな場面があるかな。 ・動画を作って、後輩に見てもらえるようにしたらどうかな。 学校生活を紹介する動画を作成して、後輩たちに見てもらおう。
	教科書の映像コンテンツなど身近な動画を例に挙げることで、文章だけでなく、音声のある動画なら理解しやすくなるのではないかということに気付かせる。	
深め	有名人が英語で説明する動画を提示することで、どのような動画を作成すると相手に伝わりやすいかを考えさせる。	動画を作成する計画を立てよう。(1時間) 必要なものは？ ・何が必要な？チーム分け？ ・いくつの項目に分ける？ ・メンバーは？ ・何についてまとめる？ 原稿は？ ・自分たちより年下の子が見るよ。 ・インタビューに合わせた原稿がいるね。 ・習った英語だけで書けるかなあ。 手順は？ ・どんな風に作る？ ・何を使う：ロイロ？keynote？ ・Youtube 実況みたいにする ・インタビュー形式にする ・字幕いれる 編集の工夫は？ ・動画をとるときどうする ・何度でも改善しやすい形がいいよね！ →元の動画は編集しない方がいいかも →テレビに元動画を映して実況とか？ 動画作成の見通しを立てることができたね。 原稿を作成し、動画を作成していこう。(2時間) ・自分たちがわからないような、難しい文法は使わない方がいいね。・あんまり長い文も入れない方がいいかな。 ・実際の動きを入れた方が相手に伝わりやすいかもしれないね。・普段の様子を映した動画があると分かりやすいよね。 ・正しい発音で読めるように発音を調べよう。・ジェスチャーも入れた方がいいよね。 原稿が完成し、音読することができるようになったね。より伝わりやすい英語にしていこう。
	相手が小学生であることを意識して原稿を作成させることで、より伝わりやすい動画にしていこうための意欲を高める。	
	話し方の極意 five (「話し方」を意識させるためのポイント) Tone , Volume , Melody , Emotion , Speed	
る	感情が分かりやすい漫画や映画の場面のセリフを読む練習をすることで、話し方の極意 five に注目できるようにする。	本時「話し方」の大切さを感じよう。(1時間) 今まで取り組んできた5つのルールを確認して、話し方に気を付けよう。 スピーチの振り返りみたいに、一度録音して比較したら分かりやすいかも。録音して、プリント見ながら聞いてみようか。 プリントに記入した通りに発音できているか確認しよう。 最初に作った動画と見比べてみよう。どこがよくなったのか分かんと思う。 改善できたところを確認し、より伝わりやすい英語で話せるようにしよう。
活用する	作成した動画を後輩に見てもらい、フィードバックをもらうことで自分たちの作成した動画が役に立ったことを実感させる。	作った動画を活用し、外国にルーツをもつ子たちに見てもらおう。(1時間) この動画で中学校生活への不安を取り除くことはできたのかな。 わたしたちの思いは伝わったのかな、知りたいな。 外国にルーツをもつ子だけでなく、たくさんに人に見てもらえたらうれしいな。 入学説明会で動画の QR コードを渡し、助けになったのかどうか、フィードバックをもらおう。

